

月刊 MARUSHO

2020年 5月号

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。



困っていることは何ですか？

私たち企業が
できることを
今こそ考えよう

新型コロナウイルス感染防止対策で、テレワークを初めて実施し、プライベートと仕事の時間をうまくコントロールできない方や出勤しても営業訪問ができないと困っていると話を伺います。今私たちができることは何か、丸庄が行っている取り組みをご紹介します。



ご返信ありがとうございました

感染予防対策として、営業訪問を控えていただいております。通常業務ができない時だからこそ、お客様に少しでも元気になってもらいたい、つながりを大切にしたいと考えて、営業担当ごとにメッセージをYouTubeにアップさせていただいております。初めての動画撮影で緊張していたり、恥ずかしがっていたり、普段とは違った営業担当を見て楽しんでいただけたら幸いです。

実際にメールをご覧いただいたお客様からは、テレワークパネルについてのお問い合わせや「斬新な取り組みですね」「情報発信の参考にさせていただきます」...といった感想のメールを多数頂いております。ご返信頂きましてありがとうございました。



ダウンロード可能になりました

先月「丸庄で出来ること」第1弾としてご案内した「塗り絵」ですが、お客様からのご要望にお応えしてダウンロード対応いたしました。ホームページのトップページにあります「丸庄で出来ること」ページ内から塗り絵のダウンロードが出来ます。



また、ご郵送ご希望の方には、引き続き「塗り絵セット」をお送りさせていただいております。テレワーク中にお子さんが家で騒いで困っている方や、



退屈な時間をなくしたい方に遊べる塗り絵と印刷機で使用する大判サイズの落書き用紙も同封しておりますので、テレワークを実施している、していないに関わらずお気軽にお申込みください。お送り頂いた作品は順次Instagramにアップしておりますので、どしどしご応募お待ちしております。

ぜひ聞かせてください

今、率直なお困りごともお聞かせください。お客様のお助け企業として、できることはないか思いつくりご協力させていただきます。例えば、営業訪問のできない営業さんのための販促ツールや自社の商品を配りたいが人手が足りないなど、具体的なお困りごとをお聞かせください。我慢を強いられる大変な時ですが、みんなで協力して、乗り切りましょう。



Instagram始めました

Facebookに続いてInstagramも始めました。
ユーザー名はmaruiro.pr (まるイロPR)です。



楽しくゆる〜く更新予定です、
フォローよろしくお祈いします！

Facebookも引き続きよろしくお祈いします。

<https://www.instagram.com/maruiro.pr/?hl=ja>





社名の由来の豆知識 【文具編】

楽しみがお預けになった新学期。今回は学校や会社で大活躍のあの文具たちを作っているメーカーをピックアップしてご紹介いたします。

社名とマークに込められた3つの理由
～ゼブラ株式会社～

ゼブラ【ZEBRA】は、創業者である石川徳松氏が大正3年に商標としました。

第1の理由は、シマウマが温厚でいつも群棲し、つねに一致協力して身を守る動物であることから、社員がシマウマのように堅く結束し、文化の向上、発展にかかせない筆記具の製作に邁進することを願ったため。

第2の理由は、シマウマは漢字で「縞馬」または「斑馬」と書き「斑馬」の「斑」という文字は「王」+「文」+「王」に分解すると、「文」と「王」になるため、文房具界の王となるような会社という意味も込められています。第3は、英語名を採用したことで、新しい筆記用具であることを強調したかったと言われています。

ちなみに、シマウマのマークが後ろを向いているのは、温故知新(古きをたずねて新しきを知る)を意味しているそうです。

初心を忘れかけていた自分を戒めて
～コクヨ株式会社～

コクヨの創業は明治38年。創業者・

黒田善太郎氏が、富山県から大阪に出

て、大福帳などの帳簿の表紙を作る店に働いた後、同社の前身となる「黒田表紙店」を開いたのが最初です。事業が発展し、和帳の製造もおこなうようになり、大正3年に「黒田国光堂」と社名を変えました。

ZEBRA
Open your imagination.



KOKUYO

その後、大正6年に商標として「国誉」を使い始めました。この「国」は故郷の富山のことであり、善太郎氏がこの名前をつけた裏には、事業が成功し、余裕が出てきたとき「わずかな成功に安んじて、初心を忘れるようではいかん」と気づき、「郷土に恥じない人間になるよう、国の光、国の誉れになる商売をしなければ」と戒める気持ちがあったと言われていました。そして「国誉」の商標は昭和23年に「コクヨ」というカタカナに変わり、昭和36年には社名も現在のコクヨ株式会社となりました。

日本生まれの世界の画材
～株式会社サクラクレパス～

現在の小学校の図画の時間のスタイルは、大正時代に「感じたまま自由に、のびのびと写生させなさい。」画家の山本鼎(かなえ)が提唱した「自由画運動」がきっかけでした。この運動の広がりとともに急速に普及したのが、大正6年にアメリカから輸入されていたクレヨンです。しかし、当時のクレヨンは非常に硬く、色を塗るのには適さず、表現方法に限界がありました。日本でも自由画運動に賛同した創業者らにより、1921年(大正10年)、「日本クレヨン商會」が設立され、製品名「櫻クレヨン」の製造と販売を開始しました。1925年(大正14年)に「クレヨン」の定着性の良さや「パステル」の混色のしやすさといった特長を生かした世界初の描画材料「クレパス」が誕生しました。やわらかくて伸びがよく、鮮やかな発色が特長。当時「棒状絵の具の大革命」と呼ばれました。

国花である「さくら」の名称と図柄を製品に冠したのは、最高品質の製品を提供することによって、教育・文化に貢献し、国の繁栄とともにあゆむことを企業理念としたからです。昭和45年に「サクラクレパス」を社名としました。



まるメルのパックナンバーはこちら▶ [週刊marusho](#) [バックナンバー](#) [SEARCH](#)

カタログが動画に大変身!

パンフレットMOVIE

商品や会社案内などのカタログやリーフレットで使用したスチールデータ(静止画)を活用!!アニメーションを施し動画を作成します。Web動画や店舗用PR動画にも最適です!

詳しいご質問・お問い合わせは弊社営業担当まで。

Tel. 03-3881-2131(代)

パンフレット MOVIE

1本(尺は2分以内): ¥320,000～

仕様: ・ディレクション
・企画構成
・アニメーション制作
・音楽効果
・試写
・納品用動画ファイル作成

※ナレーション: 完全オリジナル演出をする場合は別途是非担当営業までご相談ください。

▶サンプルはこちら

<https://youtu.be/649WVyoZ1Xg>

<https://youtu.be/2R5fe26U6pc>

